

G3:研究データプラットフォーム 技術セミナー

Technical Seminar on Research Data Platforms

～ RDMとビッグデータ：データガバナンスへの新課題 ～

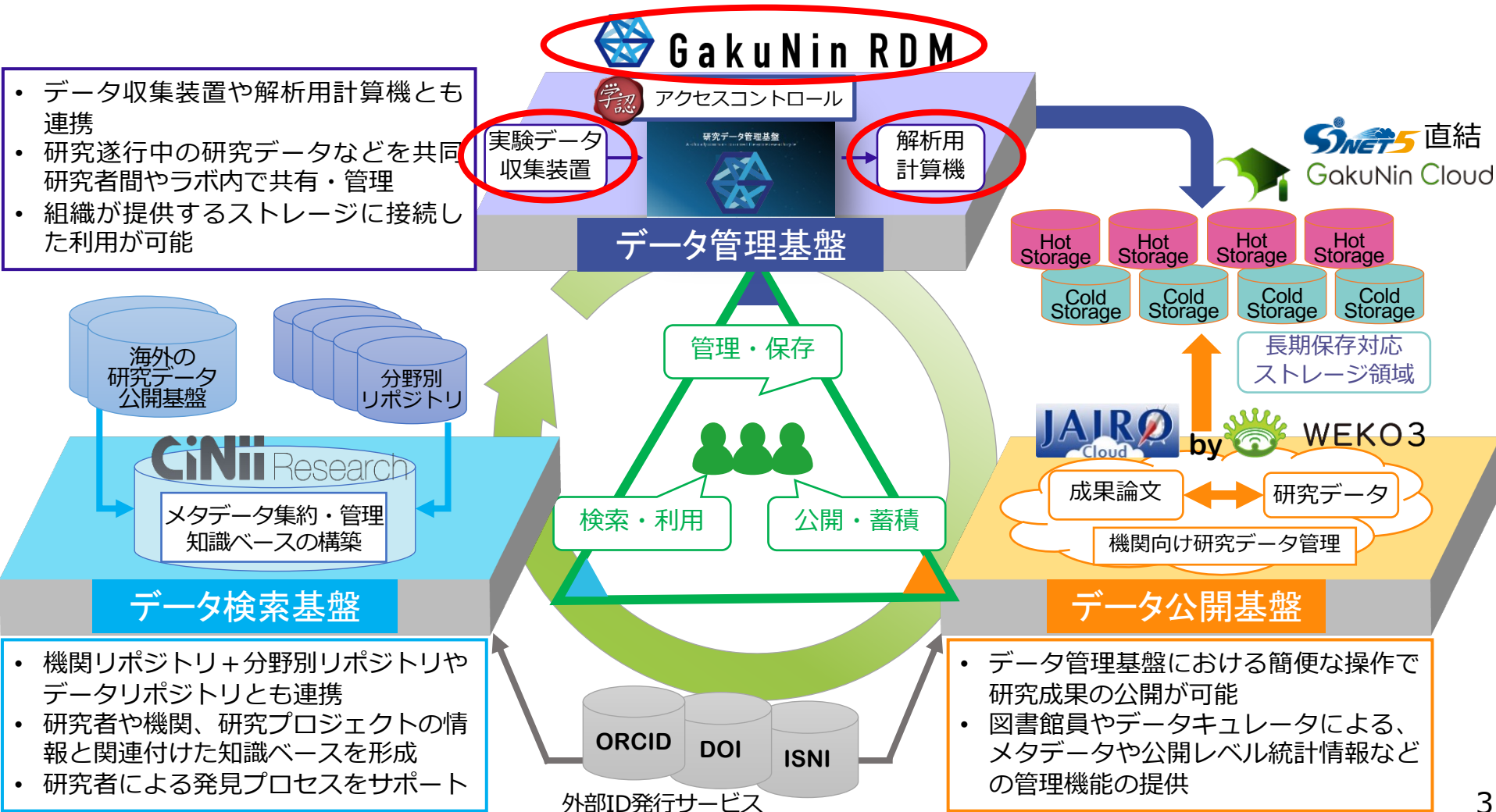
Japan Open Science Summit 2023
2023年6月21日(水) 14:00-15:30
於 オンライン

セッション概要

- 国内のオープンサイエンスの各研究分野の学術機関では、データ管理・利活用のための研究データプラットフォーム開発が進んでおり、分野や機関の要望に応じて日々開発されている。
- 本セッションでは、オープンサイエンスや研究DXを推進されている組織から、担当者・有識者を招き、国内の研究データプラットフォームの開発・運用の状況をご紹介いただき、参加者と情報共有を行う。
- 今年度は特にビッグデータ、ストリーミングデータの管理や利活用、データガバナンス、研究DXの専門家に展望や課題、事例の話を伺う。

国立情報学研究所の研究データ基盤 NII Research Data Cloud (NII RDC)

2017年から開発開始 ⇒ 2021年から運用開始



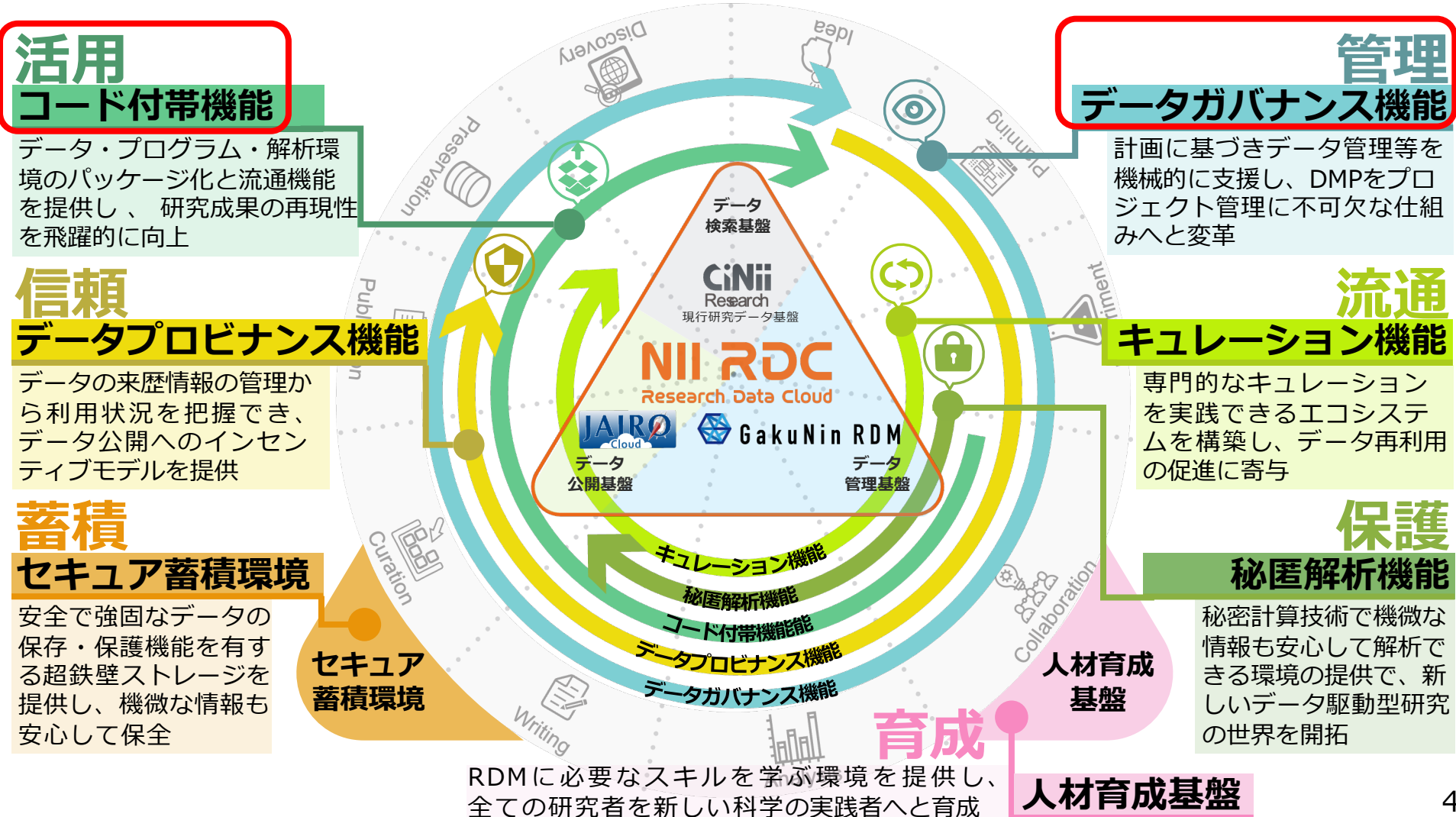
- データ収集装置や解析用計算機とも連携
- 研究遂行中の研究データなどを共同研究者間やラボ内で共有・管理
- 組織が提供するストレージに接続した利用が可能

- 機関リポジトリ+分野別リポジトリやデータリポジトリとも連携
- 研究者や機関、研究プロジェクトの情報と関連付けた知識ベースを形成
- 研究者による発見プロセスをサポート

- データ管理基盤における簡便な操作で研究成果の公開が可能
- 図書館員やデータキュレータによる、メタデータや公開レベル統計情報などの管理機能の提供

NII RDCの機能拡張の将来展望

NII RDCを7つの側面から高度化・全国展開して研究DXを支援



活用 コード付帯機能

データ・プログラム・解析環境のパッケージ化と流通機能を提供し、研究成果の再現性を飛躍的に向上

管理 データガバナンス機能

計画に基づきデータ管理等を機械的に支援し、DMPをプロジェクト管理に不可欠な仕組みへと変革

信頼 データプロビانس機能

データの来歴情報の管理から利用状況を把握でき、データ公開へのインセンティブモデルを提供

流通 キュレーション機能

専門的なキュレーションを実践できるエコシステムを構築し、データ再利用の促進に寄与

蓄積 セキュア蓄積環境

安全で強固なデータの保存・保護機能を有する超鉄壁ストレージを提供し、機微な情報も安心して保全

保護 秘匿解析機能

秘密計算技術で機微な情報も安心して解析できる環境の提供で、新しいデータ駆動型研究の世界を開拓

育成 人材育成基盤

RDMに必要なスキルを学ぶ環境を提供し、全ての研究者を新しい科学の実践者へと育成

プログラム

14:00-14:05 セッション概要説明

14:05-14:20 【発表15分】

『RDM/レポジトリにおけるストレージ仮想化レイヤの導入についての検討』

實本 英之（理化学研究所情報統合本部
データ管理システム開発ユニット）

14:20-14:35 【発表15分】

『データ分析を再現・再利用可能にするパッケージ機能の構想』

藤原 一毅（国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系）

14:35-14:50 【発表15分】

『マルチクラウドでの大規模衛星データ利用』

織田 篤嗣（産業技術総合研究所 デジタルアーキテクチャ研究センター
地理空間サービス研究チーム）

14:50-15:05 【発表15分】

『ビッグデータの利活用に向けた研究データ管理・ガバナンス構想』

平木 俊幸（国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター）

15:05-15:25 質疑応答

15:25-15:30 クロージング

セッションの諸注意

- 本セッションは講演形式で、お一人（15分発表＋5分質疑応答）としています。
- オンラインセミナーのため質疑応答は、全員の講演後に全体質疑の時間を設けています。
- 質疑応答は指定するSlidoへご投稿ください。座長の方で質問を拾いますが、時間の関係上、全ての質問を登壇者にご回答いただけない場合がございますが、予めご了承ください。
- ご質問の際は、Slidoの表示名にお名前とご所属をご設定いただいた上で、どの講演者に向けた質問か冒頭にお書きください。